

研究主題

「多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成」

～教職員集団の総合力を高める校長の組織マネジメントの在り方～

1. 研究の趣旨

〈今日的な課題から〉

- ・ Society5.0時代が到来
 - ・ 予測困難な時代（新型コロナ等）
- 社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。

2. 研究の概要

（1）研究目標

本地区における教員の育成はどのようにあるべきか、より実践的で効果的なマネジメントの在り方を探り、学校経営の充実に資する。

2. 研究の概要

（2）研究計画

＜令和5年度（1年目）＞

- ・ 研究の方向性の確認及び計画立案
- ・ 実態調査の実施①
- ・ 調査結果の分析、考察

2. 研究の概要

(2) 研究計画

<令和6年度（2年目）>

- ・ 実態調査の実施②
- ・ 調査結果の分析，考察，検証
- ・ 各校の状況や実践事例の集約

2. 研究の概要

(2) 研究計画

<令和7年度（3年目）>

- ・ 昨年度までの取組、実践の共有
- ・ 研究の成果と課題の整理
- ・ 次年度の研究に関する方向性の確認

3. 研究の方法

- ・ 教員育成に関する実態調査と結果分析

→宮城県北部地区26校の現状を
明らかにする！



4. 研究の実践

(1) R5年度

【実態調査】対象：地区内校長及び教員

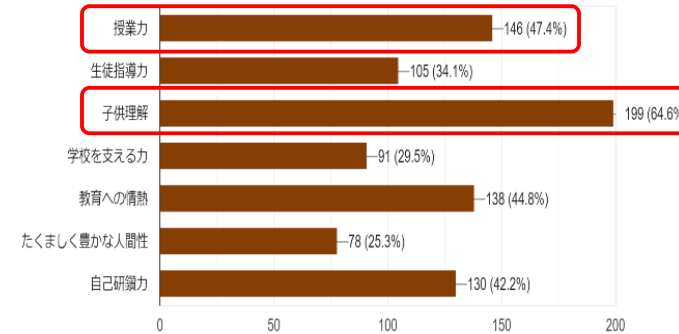
- ① 校長が感じている「教員に身に付いていると思われる資質能力」と教員自身が感じている「今後、身に付けたい資質能力」との乖離
- ② 多様化する学校教育課題と教員育成上の課題

【調査結果】：経験段階別回答数

教職経験段階	回答308件
第0期(新規採用時)0年	6.5%
第Ⅰ期(基礎形成期)1～5年目	22.7%
第Ⅱ期(資質成長期)6～10年目	19.5%
第Ⅲ期(基礎充実期)11～20年目	13.3%
第Ⅳ期(深化発展期)21年目以上	38.0%

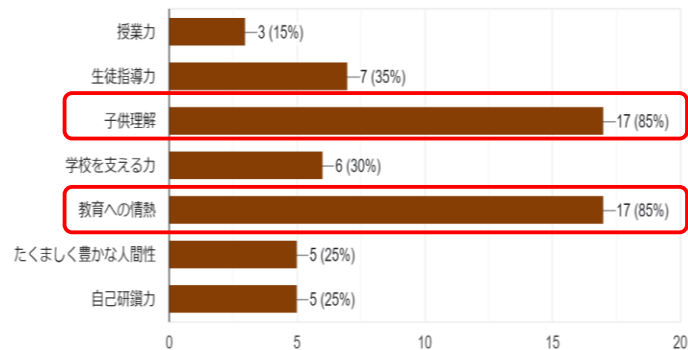
【調査結果】

〔質問1：教員に付いていると思われる資質能力（教員）〕



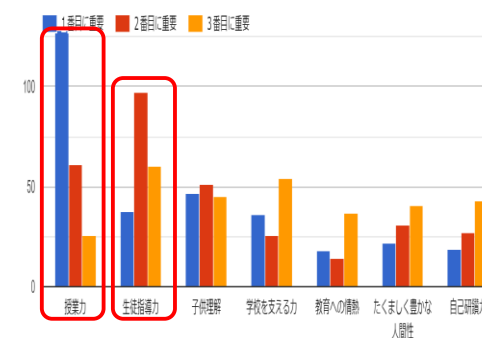
【調査結果】

〔質問1：教員に付いていると思われる資質能力（校長）〕



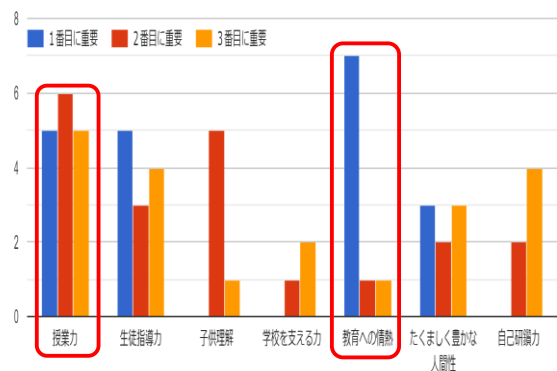
【調査結果】

〔質問2：今後身に付けたい資質能力（教員）〕



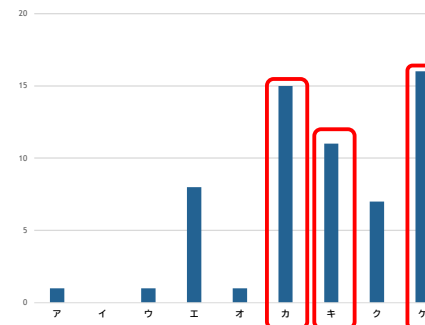
【調査結果】

〔質問 2：今後身に付けたい資質能力（校長）〕



【調査結果】

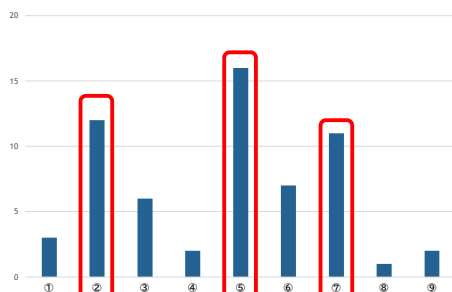
〔質問 3：校長が感じている学校課題〕



ア.特別支援学級の生徒数の増加
イ.外国人生徒数の増加
ウ.貧困率や虐待等の問題の複雑化
エ.いじめ・不登校生徒数の増加
オ.生徒数の減少
カ.教職員不足、働き方等
キ.保護者の価値観の多様化
ク.学力の二極化
ケ.配慮を要する生徒数の増加

【調査結果】

〔質問 4：校長が感じている教員の育成上の課題〕



①授業技術の伝達
②生徒指導技術の伝達
③常識的な言動の指導
④コンプライアンスの遵守
⑤主任やミドルリーダー層の育成
⑥初任層への指導
⑦ベテラン層のモチベーションの維持
⑧研修時間の確保
⑨ICTを使いこなす技術

【考察】

〈質問 1：教員に身に付いていると感じている資質能力〉

	教員	校長
授業力	○	
子供理解	○	○
教育への情熱	○	○

〈質問 2：今後身に付けたい（身に付けさせたい）資質能力〉

	教員	校長
授業力	○	○
子供理解	○	
教育への情熱		○

4. 研究の実践

(2) 令和6年度

【実態調査】対象：地区内校長

- ① 学校課題を解決するための取組と効果
- ② 教員養成のための取組とその効果

4. 研究の実践

① 学校課題を解決するための取組と効果

〈働きやすい環境づくりと・良好な関係づくりの実践例〉



- ・「ウェルビーイング会議」「チーム会議」の実施
- ・「定時退庁日宣言」の実施
- ・短時間での「MAP」や放課後を利用した「職員レクリエーション」の実施

4. 研究の実践

① 学校課題を解決するための取組と効果

〈校内研究・研修の充実に関する実践例〉



- ・協働での授業づくり
- ・日常の取組（校務分掌）とリンクさせた校内研究のチーム編成
（リーダーは若手、ベテラン層はアドバイス）
- ・「先輩の話を聞く会」の実施

4. 研究の実践

① 学校課題を解決するための取組と効果

〈校務分掌等の工夫に関する実践例〉

- ・研究主任、防災主任等に若手教員
- ・校務分掌の所属部会の明確化
- ・「別室登校教室会議」の実施

4. 研究の実践

②教員育成のための取組とその効果

〈初任者層、主任層などの人材育成に関する実践例〉

〈全体への働き掛け〉

- ・「校長室便り」の発行
- ・年度始めの職員会議でのビジョンの提示
- ・「学級担任会」の設定

4. 研究の実践

②教員育成のための取組とその効果

〈初任者層、主任層などの人材育成に関する実践例〉

〔初任者層への働き掛け〕

- ・OJTを活用した働き掛け
- ・授業参観からの話合い
- ・授業づくりに関する県外研修の機会

4. 研究の実践

②教員育成のための取組とその効果

〈初任者層、主任層などの人材育成に関する実践例〉

〔主任・ミドル層への働き掛け〕

- ・学校運営の中核をなす校務分掌に登用
- ・所属職員の状況を気に掛け、積極的な声掛けをするよう依頼
- ・管理職等選考受験者に対する研修の実施

4. 研究の実践

〈今後、取り組んでみたい方策〉

- ・働き方改革プロジェクトチームの結成とワークショップの実施
- ・学校運営の中核をなす校務分掌への若手の登用
- ・ミドルリーダー向け研修会の実施

4. 研究の実践

【考察】

- ・学校全体で課題を共有し、組織として解決に当たっている取組
- ・レクリエーションやMAP等を実施し、良好な人間関係作りを目指した取組

4. 研究の実践

【考察】

- ・校長による全体や個人への働き掛けで教職員のモチベーションのアップ
- ・中堅教員を中核的な校務分掌に積極的に登用
- ・初任層を複数の教員でフォローする体制

4. 研究の実践

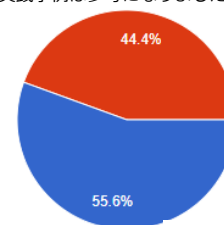
(3) 令和7年度

- ① 2年目までの取組、実践の共有
- ② 研究の成果と課題の整理

4. 研究の実践

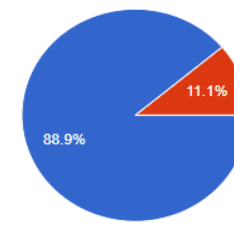
〈2年目までの調査、考察について〉

○実践事例は参考になりましたか



- とても参考になった
- まあまあ参考になった
- あまり参考にならなかった
- まったく参考にならなかった

○取り組んでみたい実践事例はありましたか



- 取り組んでみたい方針があった
- 待になかった

4. 研究の実践

〈参考にしたい取組について〉

- ・チーム担任制
- ・別室登校教室会議
- ・現職教育の一環としてのレクリエーション
- ・働き方改革プロジェクトチーム
(チームによる企画・検討)
- ・先輩の話を聞く会
- ・校長としての構え、心掛け

4. 研究の実践

〈その他の実践事例〉

- ・学校経営サークルの開催
- ・開かれた校長室
- ・心のケアハウスのサテライト方式による相談・
学習支援

4. 研究の実践

〈新たに取り組んでみたいと思っていること〉

- ・複数教員のローテーションでの道德の授業
- ・教員の主体的な学習会の実施
- ・情報共有のための職員ポータルサイトの充実
- ・小中連携、中高連携
- ・教員一人一人との対話の充実等

4. 研究の実践

【3年間の成果】

- ・多くの実践事例を集約でき、校長先生にとって
参考になるものであった。
- ・校長同士のつながり、コミュニケーションの大
切さを実感する機会となった。

ご清聴ありがとうございました